

しもつけし
ぎかい
だより

令和5年5月15日発行

令和5年第1回定例会 3月議会

今号のポイントは？

- 令和5年度各会計当初予算
注目事業をピックアップ!! …… P 3
- 令和4年度各会計補正予算等 …… P 4
- 12名の議員が市政を問う
一般質問 …… P 9
- 読めば答えが見えてくる!?
議会だよりクイズ …… P 16

～報告動画の撮影風景～



動画配信により議会報告会を開催

(議会ホームページで公開中)

しもつけ市議会だよりは議会ホームページでもご覧いただけます
ホームページ <http://www.city.shimotsuke.lg.jp>

下野市 市議会



No.68

令和5年第1回 定例会

2月21日(火)～3月16日(木)

令和5年第1回定例会は、2月21日から3月16日までの24日間の会期で開催されました。

市長提案により、人事案3件、令和4年度補正予算5件、令和5年度予算8件、条例の制定・一部改正等15件の計31件が提出されました。

また、陳情2件の審査が行われたほか、一般質問では3人の会派代表者質問と9名の個人質問が行われ、市の対応や考え方を問いました。

令和5年度各会計予算を議決

一般会計

予算総額263億5,000万円(前年度比1.1%増)
予算編成テーマ ～未来へつなぐ下野市まちづくり予算～

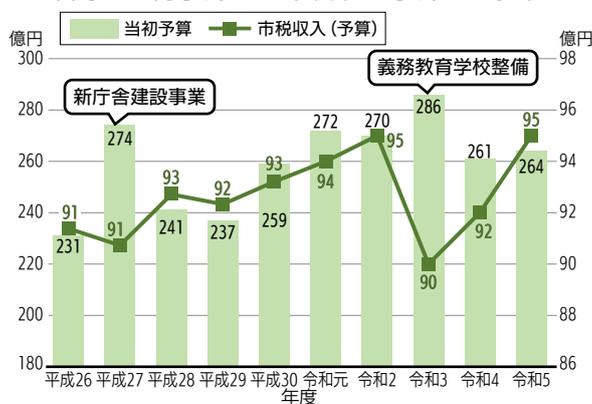
令和5年度一般会計予算は、「第二次下野市総合計画後期基本計画」を軸に、「第二期下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の達成に向け、健全財政を堅持しながら、多様化する市民ニーズ、アフターコロナや原油価格・物価高騰をはじめとした社会・経済状況の変化など新たな環境に対応し、これからの下野市がもっと住みよいまちへ発展するよう「子育て支援」、「安全安心なまちづくり」及び「地域経済の活性化」の施策を柱とした『未来へつなぐ下野市まちづくり予算』として編成されました。



令和5年度予算の詳細な内容は、広報しもつけ5月号(P.6～)をご覧ください。



10年間の当初予算額と市税収入予算額の推移



主要事業について

- **伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施事業** 5,752万9,000円
必要な支援につなぐ体制の充実と経済的支援を一体的に実施
- **しもつけっ子応援プロジェクト** 1,959万円
子育て世帯の見守りの強化、おむつ等購入助成
- **民間保育所等のおむつ処分補助事業** 256万円
民間保育所等のおむつ処分費の一部補助
- **東の飛鳥プロジェクト整備事業** 1,209万6,000円
下野薬師寺跡周辺の街なみ環境整備
- **南河内東公民館改修事業** 9,818万円5,000円
南河内東公民館の機械設備の改修工事
- **非常備消防事務費** 5,829万5,000円
消防団の運営、消防防災用IP無線機導入等
- **消防防災施設管理事業** 3,723万4,000円
消火栓等の維持管理、災害情報共有システム導入等
- **担い手支援事業** 2,057万円
農業研修者受入支援事業、経営改善担い手農家の農業機械導入等への支援、経営継承への支援
- **商工業振興事業** 9,943万2,000円
工場適地調査、工場誘致奨励金、まちなか商店リフォーム補助金
- **都市計画事業** 3,034万円5,000円
都市核形成、石橋・小金井駅周辺整備事業化検討業務
- **しもつけ産業団地整備推進事業** 2億8,159万円
雨水排水施設整備、配水管布設工事負担金
- **スマートIC整備事業** 1億9,890万円
スマートIC北側進入路築造工事、ネクスコ東日本への整備負担金
- **市道大規模修繕事業** 2億9,600万円
1・2級幹線道路の舗装修繕工事

令和5年度各会計予算

会計名	予算額	前年度との比較		
		増減	比率(%)	
一般会計	263億5,000万円	2億9,000万円	1.1	
特別会計	国民健康保険	52億3,945万9千円	2,477万7千円	0.5
	後期高齢者医療	7億5,261万2千円	4,446万1千円	6.3
	介護保険	45億6,410万5千円	2,482万1千円	0.5
	石橋駅周辺土地区画整理事業	1億3,453万9千円	1億3,123万円	3,965.9
	仁良川地区土地区画整理事業	4億1,264万6千円	1,476万3千円	3.7
企業会計	水道事業	18億2,163万7千円	7,288万8千円	4.2
	下水道事業	35億8,033万4千円	1億285万円	3.0



議会だより
編集委員が選ぶ

注目事業

当初予算から気になる事業をピックアップしました。

新規

中学生平和研修派遣事業 286万円
中学生海外派遣事業 240万円
姉妹都市中学生受入事業 153万1,000円

令和4年度はコロナ感染拡大により広島派遣直前に中止となりましたが、希望する生徒は5年度の派遣事業に同行を可能としました。

また、コロナ禍のため実施できなかったドイツへの海外派遣を6年振りに実施します。姉妹都市からの中学生受入事業も実施が予定されています。



異国の文化に触れて
(中学生海外派遣事業)

駐輪場改修事業(石橋駅自転車駐車場
リノベーション事業) 5,700万円

老朽化した石橋駅自転車駐車場を「石橋駅西口地区都市構造再編集中支援事業」の活用により、リノベーションし、利便性向上と地域の賑わい創出を図ります。既存施設の改修、自動料金精算機・事務室・多目的室(休憩・学習等スペース)・トイレ等を設置します。総事業費は1億2,750万円、令和6年度までの継続事業で整備を行います。



石橋駅自転車駐車場
(常任委員会現地調査にて)

スマートIC(インターチェンジ)整備事業 1億9,890万円

(仮称)下野スマートIC事業計画に基づき、北関東自動車道へ連結するスマートインターチェンジに関連する道路整備を行うことにより、地域経済の活性化、安心安全を支える地域づくり、周辺交通の負荷軽減などの効果を図ります。なお、スマートインターチェンジ開通は令和7年度以降です。

公園施設維持管理事業 2億59万5,000円
(うち、三王山ふれあい公園 3,475万円)

公園の適切な維持管理を行い、遊具はじめ施設更新・改築を計画的に実施することで、施設の長寿命化と安全性を向上させ、コスト削減も図ります。三王山ふれあい公園については、オートキャンプ場やドッグランなどを中心とした魅力的な公園づくりを行います。

しもつけっ子応援プロジェクト 1,959万円

新規

安心して子育てができるよう、保護者の負担軽減を図り、子どもの健やかな成長を応援し、見守りながら、乳幼児に必要な紙おむつ等の購入助成券を交付する事業です。「こんにちは赤ちゃん事業」で訪問・再訪問した家庭と10か月健診時に紙おむつ等購入助成券を配付します。



小学校・中学校・義務教育学校施設整備事業 3,827万3,000円

安全安心な学校生活のため、破損や故障等による危険箇所の修繕工事を行います。

【小学校】

- ・国分寺小 渡り廊下床修繕 1,100千円
- ・細谷小 東校舎教室床張替 1,089千円 他

【中学校】

- ・南河内第二中 屋上防水改修 8,118千円
- ・石橋中 小荷物専用昇降機修繕 2,283千円 他

【義務教育学校】

- ・南河内小中 プール塗装改修 6,589千円 他

令和4年度各会計補正予算を議決

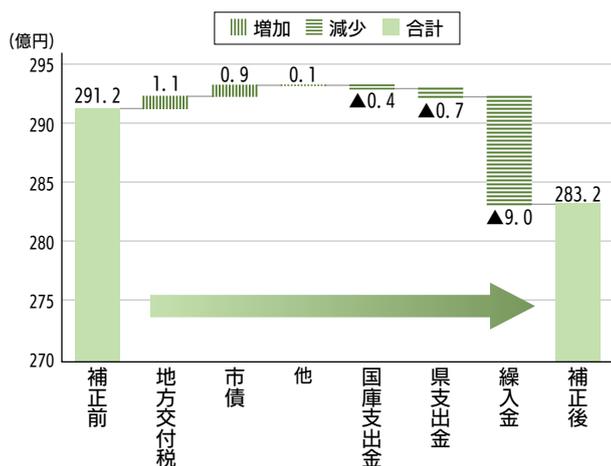
一般会計補正予算
(第7号)

各種事業費の確定により、7億9,984万4千円を減額

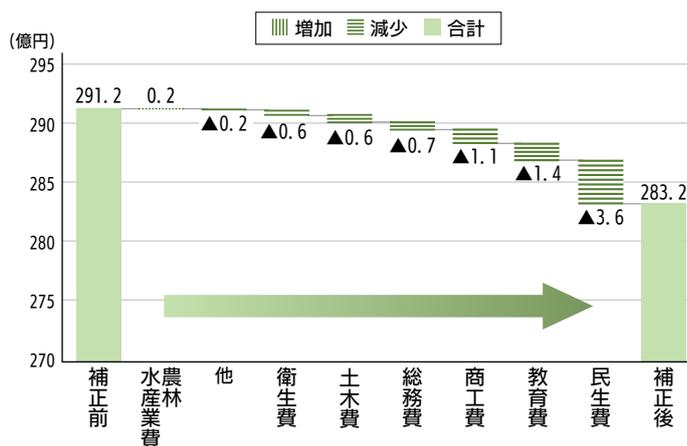
7億9,984万4,000円を減額したため、歳入歳出の予算総額は283億2,140万8,000円となります。

- ・歳入：地方交付税などが増額（2億1,604万4,000円）。
国・県の負担金や補助金、繰入金などの額の確定により、トータルで大きく減額。
- ・歳出：駐輪場改修事業(6,550万円)、障がい者自立支援給付事業(3,300万円)および公園施設長寿命化対策事業(2,318万6,000円)など増額となりましたが、各種事業費の確定により、差し引きは減額。

令和4年度一般会計【歳入】補正7号予算



令和4年度一般会計【歳出】補正7号予算



令和4年度各会計予算

会計名		予算額	補正後の予算額
一般会計	第7号	▲ 7億9,984万4千円	283億2,140万8千円
特別会計	国民健康保険(第3号)	▲ 47万4千円	55億9,489万9千円
	後期高齢者医療(第2号)	▲ 1,110万5千円	7億191万6千円
	介護保険(第3号)	▲ 3,240万円	46億7,630万1千円
	仁良川地区土地区画整理事業(第3号)	▲ 2,950万円	4億5,499万3千円

条例その他

議決した主な議案についてお知らせします。

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

消防団員の災害出動時の報酬を1日の従事時間が4時間以上の場合8,000円、4時間以下の場合4,000円とし、訓練・警戒等必要な職務の場合は1日1,200円とするよう改正します。

家庭的保育事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

利用乳幼児の送迎自動車を運行する時は、当該自動車にブザーなど車内の見落とし防止装置を備え、更に利用乳幼児が昇降の際に所在の確認を行うことになりました。

市道の構造の技術的基準を定める条例の一部改正

自動車及び自転車の交通量が多い道路には安全かつ円滑な交通を確保するため、車道の左寄りに自転車通行帯を設けます。
※自転車道の設置がなかった交通量の多い道路に、自転車通行帯を新たに設けます。

国民健康保険条例の一部改正

出産育児一時金の支給額40万8,000円を48万8,000円に改めます。
これにより、産科医療補償制度加算対象の場合は50万円が支給されるようになりました。

総括質疑

市長から提案された議案について、疑問点を問います。

発達障がい者支援 (5年度一般会計予算)

Q 令和5年度策定予定の第7期下野市障がい福祉計画には、厚生労働省と文部科学省が共同で提案しているトライアングルプロジェクトの視点は盛り込まれているか。

A 障がいのある子どもたちが乳幼児期から成人期に円滑に移行できるよう、子どもや保護者と関係各課が連携し、切れ目のない支援ができる体制づくりを基本目標に掲げている。「家庭」と「教育」と「福祉」が連携するトライアングルプロジェクトの視点に沿った計画である。

しもつけっ子応援プロジェクト (5年度一般会計予算)

Q 出産・子育て応援給付金と合わせ実施するしもつけっ子応援プロジェクト1,959万円について、政府の動向をみてからとする考えはないか。

A 国において伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施事業が創設され、本市では2月1日から実施しているが、本事業は産後の最も不安定な時期に必要なサポートにつながるため、また精神的・経済的負担の軽減を図るためスピード感を持って取り組む市独自の事業として、国の動きを待つことなく実施する。

自治医大駅東口自転車駐車場の整備 (5年度一般会計予算)

Q 自治医大駅東口駐輪場は2階スペースが広く空いていて、活用されていない自転車スタンドが目立つ。西口に建設する駐輪場に移設し活用する考えはないか。

A 駅西口駐輪場と公衆トイレの整備内容については、現在JRと協議を進めているところである。駐輪場における自転車スタンドの規格についても、電磁施錠式の機械管理方式を採用する案もあるため、管理方法と移設費用を併せて検討していく。



令和4年 栃木特別支援学校寄宿舎の存続に 陳情第1号 関する意見書の提出を求める陳情書

陳情の趣旨

栃木県教育委員会による栃木特別支援学校寄宿舎の閉舎の決定に対し、栃木県の特別支援教育を後退させることなく、寄宿舎の存続を求め栃木県へ「栃木特別支援学校寄宿舎の存続を求め意見書」の提出を求めます。

教育福祉常任委員会での意見

「障がいによる発達の困難に加えて、発達にふさわしい生活が困難な方がおり、救うための寄宿舎という存在は大きい。寄宿舎の廃止は福祉の後退を招いてしまうのではないか」との意見や、「この陳情書が出された時点では、寄宿舎は廃止という状況であったが、その後県において延期され募集も開始された。今後、県教育委員会と保護者の間でよく話し合うことが必要である」などの意見が出されました。

委員会及び本会議表決の結果 「趣旨採択」

※趣旨採択とは、全体の趣旨については賛成だが、具体的な内容を要望通りに実現することが難しいと判断されるもの

令和5年 民主主義・立憲主義の基盤である思想・ 陳情第1号 良心の自由、請願権等を守る為の陳情

陳情の趣旨

- (1)下野市及び下野市議会は特定の宗教法人及びその関連団体(ただし、反社会的団体との法廷根拠がある団体は除く)との関係を遮断する内容の宣言・決議をしないよう求めます。
- (2)下野市及び下野市議会は議員を含む私人及び私人に対し、特定の宗教に対する信仰の有無を問い、またはその団体との関係を調査・質問等しないことの決議を求めます。

総務常任委員会での意見

「今、大きな社会問題になっている中、国会でも様々に議論している。問題が起きれば、宗教に関係なく調査するのは自然な形である」「誰も宗教を理由に差別はしていないと思う。逆に要求を押しつけられているように感じる」「お互いに平等な立場でありたいので、この内容は受け入れられない」などの意見が出されました。

委員会及び本会議表決の結果 「不採択」



常任委員会 審査報告

定例会で委員会付託された議案などについて、各常任委員会での審査内容をお知らせします。

総務常任委員会

◎村尾光子 ○松山 裕 秋山幸男 石川信夫 西本由利子 坂倉 司

議案第1号 令和4年度一般会計補正予算(第7号)

栃木県との相互交流派遣職員費負担金

- Q** 歳入が700万円の減額、歳出が800万円の減額となっているが、その要因と今後の対応を伺う。
- A** 職員不足等により県職員の派遣がされなかった。これまで都市計画部門での技術職の派遣を要望してきたが、他の部門でも県人事課に人事交流を要望していく。

議案第6号 令和5年度一般会計予算

自転車駐車場指定管理委託料

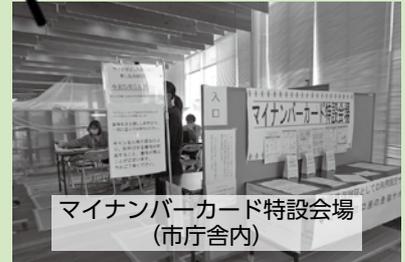
- Q** 前年度より減額の理由と収支状況を伺う。
- A** コロナ禍の影響で収支が赤字であるため、委託先のシルバー人材センターの管理人数を見直し、人件費を削減した。令和3年度収入は石橋駅993万円、小金井駅507万円、自治医大駅681万円程であるが、令和4年度、5年度も赤字が続く見込みである。

市内公共交通運行事業デマンド交通運行管理費

- Q** 事業費の特定財源は何か。デマンド交通に係る収支の推移をどのように見込んでいるのか。
- A** 特定財源は地域振興基金からの繰入金である。令和4年度収支状況では委託料は前年度比20万円減の3,399万2,000円となり、令和5年度予算も同額を計上した。運賃収入は前年度比8万1,480円増の572万3,880円を見込んでいるが、国庫補助金が200万円減額となり、1人当たりの運行経費は1,752円となる。



現地調査



マイナンバーカード特設会場 (市庁舎内)



栄町コミュニティセンター

経済建設常任委員会

◎貝木幸男 ○金子康法 小谷野晴夫 石田陽一 五戸豊弘 石川 浩



現地調査



スマートIC整備事業



天平の丘公園

議案第1号 令和4年度一般会計補正予算(第7号)

商工業振興費

- Q** 「しもつけ産業団地整備推進事業」について減額要因を伺う。
- A** 雨水管用地の樹木伐採について、本数積算から面積積算に変更したこと等により2,500万円減額となった。

議案第6号 令和5年度一般会計予算

農業振興費

- Q** 「里山林危険木伐採支援」について、内容を伺う。
- A** 森林環境譲与税が原資の新規事業。平地林や枯木、倒木の恐れのある危険木伐採に対し、事業費の2分の1、上限20万円補助する。

公園費

- Q** 全体で約3,800万円増額となった理由と長寿命化対策の内容を伺う。
- A** 光熱水費や労務費の上昇による増額。長寿命化対策は遊具の危険度点検調査結果をもとに更新を行っている。

議案第6号 令和5年度一般会計予算

障がい児給付事業

- Q** 対象の人数を伺う。
A 放課後等デイサービス対象者206名、児童発達支援サービス対象者は125名である。

生活保護扶助費

- Q** 生活保護受給者人数と、若年層の人数を伺う。
A 令和4年10月現在で341世帯、404名。年代別では10代が22名、20代が5名、30代が14名となっている。

学校給食管理事業

- Q** 市内学校の^{まかない}賄材料費、合計2,012万8,000円の内容を伺う。
A 食材費の高騰を受けた緊急的な措置であり、週に3、4日ある米飯給食のお米代を市から支援するものである。
 ※賄材料費・・・財政用語で給食の材料購入経費

児童家庭相談事業費

- Q** 相談内容を伺う。
A 令和3年度実績は82件、継続支援を含め234件である。主な相談として虐待相談が179件、養護相談が34件である。



現地調査



南河内第二中学校区
学校給食センター候補地



南河内東公民館

人事

政治倫理審査会委員の選任

委員欠員により、^{てつか ひでお}手塚 英男氏（笹原）を選任することに同意しました。

教育委員会委員の任命

任期満了に伴い、^{かわだ れいこ}川田 玲子氏（下坪山）を任命することに同意しました。



山中 前副市長

山中副市長が退任、新副市長に江連 隆信氏

3月31日をもって、山中庄一副市長が退任されました。山中氏は平成31年4月から4年間にわたり副市長として本市の発展にご尽力いただきました。

後任には、江連隆信氏を選任することに全会一致で同意しました。江連氏は栃木県職員として、県土整備部長、部長を歴任され、平成31年3月に退職。令和2年4月からは栃木県地域づくり機構理事長としてご活躍されました。市政発展に向けさらなる活躍をご期待申し上げます。



江連 副市長

議 会 の 動 き

2月

- 1日 総務常任委員会
- 2日 全国市議会議長会基地協議会総会
- 3日 正副委員長会議・議員全員協議会・議会運営委員会
- 14日 議会運営委員会・議員全員協議会・議会活性化特別委員会
- 16日 議員研修会・議会だより編集委員会
- 21日～3月16日 第1回定例会
- 27日 会派代表者会議

3月

- 2、3日 総務常任委員会
- 6、7日 教育福祉常任委員会
- 8、9日 経済建設常任委員会

- 9日 小山広域保健衛生組合 第1回議会定例会
- 14日 議会運営委員会・議員全員協議会・議会活性化特別委員会
- 16日 議会だより編集委員会
- 23日 石橋消防組合議会
- 27日 FMゆうがお「こんにちは！下野市議会です」（出演者：経済建設常任委員会）
- 30日 議会だより編集委員会

4月

- 14日 議会だより編集委員会
- 17日 議会運営委員会・会派代表者会議
- 21日 議会だより編集委員会
- 24日 FMゆうがお「こんにちは！下野市議会です」（出演者：教育福祉常任委員会）

第1回定例会の審議結果

議案などに対する各議員の賛否の状況です。

議員の賛否が分かれたもの

議案等番号	付議事件	結果	坂倉司	山下みゆき	西本由利子	鈴木一司	石川浩	松山裕	加藤好雄	金子康法	伊藤陽一	五戸豊弘	貝木幸男	石川信夫	相澤康男	大島昌弘	石田陽一	小谷野晴夫	秋山幸男	村尾光子	
議案6号	令和5年度下野市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案7号	令和5年度下野市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案8号	令和5年度下野市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案9号	令和5年度下野市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案14号	下野市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年陳情1号	栃木特別支援学校寄宿舎の存続に関する意見書の提出を求める陳情書	趣旨採択	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

○…賛成 ●…反対 (石田陽一議長は表決に加わらない)

全会一致で可決されたもの

議案等番号	付議事件	議案等番号	付議事件
同意1号	下野市副市長の選任	議案18号	下野市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正
同意2号	下野市政治倫理審査会委員の委嘱	議案19号	下野市消防団条例の一部改正
同意3号	下野市教育委員会委員の任命	議案20号	下野市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
議案1号	令和4年度下野市一般会計補正予算(第7号)	議案21号	下野市国民健康保険条例の一部改正
議案2号	令和4年度下野市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	議案22号	下野市保育園設置条例の一部改正
議案3号	令和4年度下野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	議案23号	下野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
議案4号	令和4年度下野市介護保険特別会計補正予算(第3号)	議案24号	下野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
議案5号	令和4年度小山栃木都市計画事業仁良川地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)	議案25号	下野市市道占用料徴収条例の一部改正
議案10号	令和5年度小山栃木都市計画事業石橋駅周辺土地区画整理事業特別会計予算	議案26号	下野市市道の構造の技術的基準を定める条例の一部改正
議案11号	令和5年度小山栃木都市計画事業仁良川地区土地区画整理事業特別会計予算	議案27号	下野市都市計画法に基づく開発行為の許可の基準に関する条例の一部改正
議案12号	令和5年度下野市水道事業会計予算	議案28号	市道路線の認定
議案13号	令和5年度下野市下水道事業会計予算	令和5年陳情1号	民主主義・立憲主義の基盤である思想・良心の自由、請願権等を守る為の陳情
議案15号	下野市情報公開・個人情報保護審査会条例の制定	発議1号	下野市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について
議案16号	下野市犯罪被害者等支援条例の制定	発議2号	下野市議会委員会条例の一部改正について
議案17号	下野市情報公開条例の一部改正	発議3号	下野市議会会議規則の一部改正について

議会に報告があったもの

議案等番号	案件名	内容
報告1号	専決処分の報告	市道での事故に係る損害賠償金額69,876円の決定
報告2号	専決処分の報告	市道での事故に係る損害賠償金額83,365円の決定

市政を問う 一般質問



一般質問は、新型コロナウイルス感染症対策のため、質問時間を1人40分までとして行いました。3名の会派代表質問、9名の個人質問の内容を要約して掲載します。

今回の質問者は

【会派代表質問】

1. 秋山 幸男 議員(一心会)……………P 9
2. 加藤 好雄 議員(下野市民派クラブ)…P 10
3. 相澤 康男 議員(清明会)……………P 10

【個人質問】

4. 松山 裕 議員…………… P 11
5. 伊藤 陽一 議員…………… P 11
6. 金子 康法 議員…………… P 12
7. 貝木 幸男 議員…………… P 12
8. 小谷野 晴夫 議員…………… P 13
9. 石川 浩 議員…………… P 13
10. 五戸 豊弘 議員…………… P 14
11. 山下 みゆき 議員…………… P 14
12. 村尾 光子 議員…………… P 15

一般質問は議会ホームページで動画を公開しています。



会派代表質問

一心会

あきやま ゆき お
秋山幸男議員が問う

大学連携

自治医科大学内の大講堂の借用は可能か？

市長 下野市、及び市の関係団体への貸出しが可能

Q 下野市文化芸術活動拠点整備のあり方が答申(平成27年)され、前市長は建設は財政上極めて厳しく、財政の見通しが立てられないと語られた。その時、建設を望む関係者に対しての救済措置として、自治医科大学大講堂の借用を提案したが、その後の検討、取組状況を伺う。

市長 大講堂の借用を具体化するため関係部署

A に指示し、昨年11月に担当職員が大学を訪問、関係職員と協議を行った結果、今年1月に連絡があり、貸出しが可能との回答をいただいた。



【大講堂の定員】
1階のみ使用 540人
1・2階使用 800人

工事請負契約について

Q 南河内小中学校建設は総合評価落札方式により実施され、結果は1億4,300万円と高額な価格を提示した企業体が落札者となった。これについては、評価科目、価格点の配分について指摘したが、見直しの内容を伺う。

A 市長 価格点の上限を引き上げ、価格点の比重を増した。今年度も入札制度合理化対策検討委員で価格点以外の評価科目を検討し、外部委員で構成する入札適正化委員会でも新たな項目を追加する報告を受け、要領の改正を行ったところである。



会派代表質問
下野市民派クラブ

かとうよしお
加藤好雄議員が問う

水道事業

地下水を守ってほしいとの声にどう答えるか

市長 7,313筆の署名された皆様の思いを受け止め慎重に判断する

Q 県からの用水供給条件の調査検討状況を伺う。

A 市長 配水場と送水管経路を検討中で、提出予定日は未定である。検討結果を県に提出しても事業への参加を決定するものではない。県との協議で今後変更になる可能性があり、市民への公表や意見聴取は想定していない。

Q 地下水だけや表流水だけの自治体もある中で、川の水を買うことを市民が望んでいると思うか。

A 市長 水源の確保は、各水道事業者によって状況が異なり、実情に応じて選択すべきと考える。

Q 厚労省は「住民の意見を聞き事業に反映させる体制の構築と水道は地域の共有財産という意識を醸成することが必要」と言っているが、下野市はこれを実践してきたか。

A 市長 施設の更新計画や収支見直し、水道ビジョン、水質検査結果等その都度必要な情報はホームページ等を活用し提供している。

Q 昨年12月11日、地域の水道水を考える市民集會に100名を超える市民(市外含む)が集まったが市長は欠席された。「地下水の水を守ってほしい」との市民の声にどう答えるのか。

A 市長 7,313筆の署名された皆様の思いを受け止め慎重に判断する。



会派代表質問
清明会

あいざわやすお
相澤康男議員が問う

ジョカツ
女活推進

女性の活躍を加速するためにどう取り組むか

市長 情報を組織内外に発信し、取組の輪を社会に広げたい

Q 女性起業家支援に関する政策について伺う。

A 市長 女性起業家支援は地域経済に重要な施策である。創業塾は平成28年からの7年間で受講者104人のうち女性は46人、まちなか商店リフォーム補助は令和元年からの4年間で16件の1,245万円、うち女性は10件で676万円の実績だった。創業プロデューサーによる創業塾実践編の開催や、個別相談の強化を図り、女性起業家の創業を実現できるよう支援を行っている

Q 市役所女性職員活躍応援行動計画の取組状況は。

A 総務部長 現在、女性の管理職は9.4%となっているが、若手は50%近くを女性が占めている。多くの部署を経験させ、県や外郭団体の研修を通してリーダーを育てていきたい。



内閣府
男女共同参画局発行
「共同参画」
3・4月号

新産業団地整備について

Q 新産業団地の具体的な計画はどうなっているか。

A 市長 令和5年度に工場適地調査を実施し、候補地としての現況整理を行う。適正・優位性など多方面からの評価により、最も望ましいエリアを工場適地の候補地として選定し、新たな産業団地整備へ向けた調整、準備に着手していきたい。



個人質問

まつやま ひろし
松山 裕議員が問う

国体効果

とちぎ国体レガシーを 本市へ継承するために

教育長

ソフト面・ハード面のバランスのとれたスポーツ行政を

Q いちご一会とちぎ国体参加選手やボランティア団体等が活動を継続するための支援についての考えを伺う。

A 教育長 市表彰条例に基づき、3位までの入賞者には市民賞を、入賞を果たせなかった出場選手にもスポーツ振興への功績を称え特別賞を贈呈した。市は、国体デモンストレーションで行われたキンボール普及促進こそ国体のレガシーをスポーツ振興につなぐものと考えている。今後、県の基金を利用して継続していく。

A 教育次長 スポーツボランティアの普及に力を入れていきたい。市ボランティアバンク登録と令和6年度全国レクリエーション大会への参加協力を進めていく。

Q スポーツ施設の改修・拡張や施設整備水準の向上、指定管理者制度の取組における進捗状況について伺う。

A 教育長 本市のスポーツ施設の改修・拡張については長寿命化計画に基づき取り組んでいる。国体に向けては石橋体育センターの照明改修におけるLED化、スポーツ交流館の外壁工事など整備を行った。なお、大松山運動公園プール跡地等を含む公園全体の施設設計・整備から管理運営までについて、民間活力の導入を検討中である。生涯にわたりスポーツを楽しめる環境整備に努める。



個人質問

いとうよういち
伊藤陽一議員が問う

地域活性

地域おこし協力隊、 活用について伺う

市長

地域活性化のため地域おこし協力隊を念頭におき連携を図る

Q 地域おこし協力隊は、住民支援などの地域活力活動を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組である。栃木県内の地域おこし協力隊の活動内容は、農業振興に関する活動から健康増進に絡むスポーツ全般など多様に対応している。本市でも高齢者の見守りをはじめ、ふれあいサロンやオレンジカフェ、老人クラブ等への支援、後継者のいない農業従事者と就農希望者との活動などは考えられないか。

A 市長 本市での高齢者やふれあいサロン等の見守り支援等の活用については、専門的な知識や能力を生かした活動により社会活動への参加促進が図られ地域の活性化につながり福祉分野での活用は今後十分検討する。農業者支援ほか各分野での活用は、能力を生かした活動や熱意と行動力が地域に大きな刺激を与え、地域の活性化が図られる。

Q 下野市において、地域おこし協力隊が活かせるか。

A 市長 私たちにはない視点から、あらゆるもの、様々なことに特化したすばらしい考えをもって活動していただけるという点など、非常に期待するもの大きいと思う。





かね こ やす の り
金子康法議員が問う

健康経営

本市でも「健康経営」への積極推進を！

市長 健康経営の視点で、職員の健康管理の充実に努める

Q 「健康経営」は、経済産業省認定による「健康経営優良法人」という制度のもと、働き方改善・組織活性化と生産性向上につながる事が期待される。自治体も対象となるが、本市職員の働く環境改善の状況を伺う。また今こそ新たな視点から「健康経営」にチャレンジすべき好機と考えるが、見解を伺う。

A **市長** 本市は労働安全衛生法の趣旨に基づいた安全・健康の確保、共済組合の福利厚生と連携した取組を実施している。経済産業省の認定制度の活用には至っていないが、今後、健康経営の視点を取り入れ、職員の健康管理の充実に努めていく。

Q 具体的な環境改善として、職員の食事・休憩時間等への対応、職員駐車場の無料化、管理職女性比率とラスパイレス指数の向上策等について伺う。

A **市長** 改善検討できるものから進めていきたい。

【ラスパイレス指数】国家公務員に対する地方公務員の給与水準のこと



かい き ゆき お
貝木幸男議員が問う

民生委員

民生委員減少による本市の対応・対策は

市長 欠員となっている区域は近隣の担当委員が対応している

Q 欠員による影響と今後の対応について伺う。

A **市長** 定数108名に対し、現在は105名が任命されており、国分寺地区2名、南河内地区1名の計3名の欠員となっている。今後、担い手不足を解消するため役割や活動内容について理解を深める機会を提供し、協力者・後継者を育成する必要がある。また、民生委員制度について一層の周知・啓発を行い、県が実施している民生委員・児童委員協力者等育成事業を活用していく。

Q 次回改選時、委員の選出を自治会長にばかり頼るのではなく、何か対策は考えているのか。

A **市長** 委員の選出については、まず初めに地域の実情に精通している自治会長より推薦をいただいている。現在は市、前任の民生委員・児童委員、自治会長が一体となり、選出にあたっている。

Q 委嘱予定日で75歳未満、特別な事情がある場合は78歳未満と年齢制限があるが、さらに延ばすことはできないか。

A **健康福祉部長** 国で定められているが、地域の実情を踏まえた弾力的な運用が可能とされている。今後75歳以上の方の推薦があった場合は、適宜推薦会で審査し候補者を決定する形で進めていきたい。





個人質問

こやのはるお
小谷野晴夫議員が問う

予算編成

新年度予算編成に対する市長の思いは

市長

市長選で掲げた5つのテーマの具現化に向けた予算である

Q 初の予算編成である令和5年度予算に対する思いは。

A 市長 これからの下野市が、より一層住みたいまちへ発展するよう「子育て支援」「安全安心の確保」「地域経済の活性化」の施策を柱とした「未来へつなぐ下野市まちづくり予算」として編成し、予算規模は対前年度比1.1%増の263億5,000万円とした。

今後のコロナウイルス感染対策について

Q マスクの着用が見直しされる中において庁舎窓口業務を担う職員の対応と、市内小・中・義務教育学校における児童生徒の対応を伺う。

A 市長 市役所は不特定多数の方が来庁され、その中には感染リスクの高い方々もいるので、当面の間、職員は着用を継続していく。

A 教育長 今後、国や県の方針を受け、各学校の実情を十分に踏まえた上で、対応を検討する。また、マスク着用の有無による差別・偏見等が起こらないよう機会を逃さず適切に指導を行うなど、児童生徒・教職員が安全で安心な学校生活を送れるよう、市教育委員会として支援していく。



個人質問

いしかわ ひろし
石川 浩議員が問う

人口問題

少子化対策は“待ったなし！”

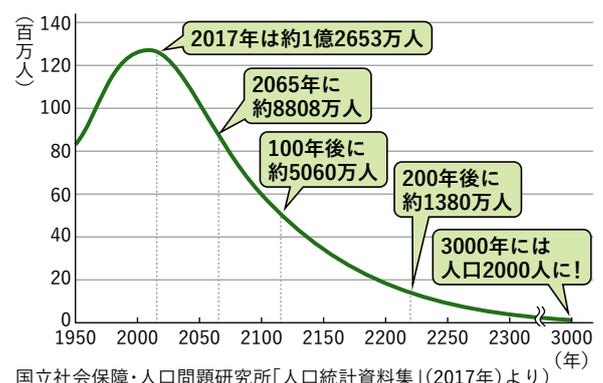
市長

アンケート調査により保護者ニーズを把握し実施する

Q 県が、令和5年度から子ども医療費助成制度を拡充することにより、県内全25市町で高校生まで医療費無料の対象が広がる。少子化や人口減少を食い止めようと各市町が無料化年齢の上限を競う状況が続いてきたが、足並みが揃うことになり、率先してこの制度に対応してきた下野市のアドバンテージが無くなる。少子化対策・人口減少を食い止める新たな、更なる市独自の施策は検討されているのか？

A 市長 次期下野市子ども・子育て支援事業計画の策定に当たり、来年度に実施を予定している市民アンケート調査において、保護者ニーズを把握し、新たな子育て支援策につなげていく。まずは、新規事業「伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施事業」、「しもつけっ子応援プロジェクト」、「不妊治療費助成」等を着実に実行することが重要と考えている。また、現在国において異次元の少子化対策として、児童手当の拡充や保育サービスの充実、働き方改革を柱に議論されていることを踏まえ、今後の国の動向にも注視していく。

日本の総人口は急激に減り続ける





個人質問

このへとよひろ
五戸豊弘議員が問う

農業支援

農業者に対する 今後の支援・取組は

市長 農業者にとって有益となる
丁寧な対応に努める

Q 令和4年10月から、本市では厳しい経営状況に直面している農業者等の負担軽減と農業継続に向けた緊急的な市独自の支援を実施した。下野市農業経営支援事業継続支援金について、対象者別の申請状況を伺う。

A **市長** 令和5年2月14日現在の申請状況は、872の農業者のうち申請者数451名で51.7%である。対象者別では、市内の農業法人20件中17件で85%、市外法人1件は未申請である。市内の認定農業者は299名中199名で66.6%、市外の認定農業者は8名中2名で25%、かんぴょう生産者は54名中19名で35.2%、その他市内農業者490名中214名で43.7%である。今回の支援策は、農業者への周知が浸透し、農業者支援としては一定の成果が見られたと受け止めている。

Q 今後の農家への直接支援はあるのか。

A **市長** 今後は、若者や女性の農業就農人口を確保し、農地の集約やICTを活用した農業経営の効率化・安定化を推進する。農業者支援としては、市独自の支援策も交え、JAや認定農業者等と連携し、新規就農者の育成や多様な人材の活躍推進に取り組む。



個人質問

やました
山下みゆき議員が問う

情報発信

道の駅！PRしないのは “もったいない!?”

市長 魅力発信に努めます！
道の駅を、もっと快適にします！

Q PRにインフルエンサーやユーチューバーを起用しては？

A **市長** 研究・検討する。

Q 道の駅にあるデジタルサイネージをタッチパネルに変更して観光案内等しては？また、自治医大駅などJR3駅、天平の丘公園にも設置しては？

A **市長** 検証検討したうえで、情報発信強化に努める。

Q 道の駅の野外ブースに“ゆっくりと、くつろげる”空間を新設しては？

A **市長** 休憩設置の配置換えや、テーブルセット等の増設、ゆっくりとくつろげる空間作りに努める。

Q 年226万人の来場者を道の駅だけでなく、市内観光に結びつける方策は？

A **市長** 回遊促進策を検討しており、令和5年度より着手する“いにしへの道”整備後は、散策による薬師寺跡周辺への誘導を期待している。また、三王山ふれあい公園への周遊性の強化を研究する。





個人質問

むら おみつこ
村尾光子 議員が問う

人権問題

ヤングケアラー支援策は充実したのか

市長 令和6年度に子ども家庭センター設置、包括的に支援する

Q 県が昨年実施した小学6年生・中学2年生・高校2年生へのヤングケアラー実態調査結果について、本市の状況はどのようであったのか

A 市長 お世話をしている家族の有無の設問には、「いる」と答えた小学生は10.4%、中学生は4.6%、高校生は3.3%で、いずれの値も県平均よりは低い。ヤングケアラーという言葉を「聞いたことがない」と答えた中学生は40%、高校生は34.4%と認知度は低かった。

Q 平成30年第3回定例会でケアラー支援について質したが、特にヤングケアラー支援はどうか充実したのか。

A 市長 相談・受入窓口として子どもとその家庭、妊産婦等を対象とした子ども家庭総合支援拠点を設置している。支援が必要な子どもや家庭については、市要保護児童対策協議会にて家庭環境や問題点を把握し、支援について関係機関と連携して対応している。学校教育では全ての教職員が児童生徒との対話に努め、気になる点があれば児童生徒指導担当や養護教諭、教育相談担当等を交えた会議を定期的に行い、対応について検討している。ヤングケアラーも支援対象とすることも家庭センターの令和6年度の設置を目指し教育機関との連携を密にする。

障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除などの家事をしている	家族に代わり、始末しようだいの世話をしている	障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている	目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている	日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている
家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている	アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している	がん・痲痺・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている	障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている	障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

ヤングケアラーの具体例

議員発議 議員が条例の制定や改正等について、議案を提出することです。

【提出者】秋山幸男
【賛成者】大島昌弘、村尾光子、小谷野晴夫、貝木幸男、伊藤陽一

すべて
全会一致で
可決

【発議第1号】下野市議会の個人情報の保護に関する条例の制定

《発議の趣旨》

個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴い、議会と同法の適用除外となるため、議会における個人情報の適正な取り扱いに関し、必要な事項を定めるため条例を制定するもの。

【発議第2号】下野市議会委員会条例の一部改正
【発議第3号】下野市議会会議規則の一部改正

《発議の趣旨》

総務省からオンラインによる委員会の開催が可能という見解が示されたことから、感染症や災害、育児、その他やむを得ない理由が認められる場合に限り、オンライン会議を行うことができるよう委員会条例と会議規則の改正を行うもの。

第2回定例会の予定

- ・会議の予定は変更になることがあります。
- ・日程が決定次第、議会ホームページでお知らせいたします。
- ・本会議、委員会は傍聴することができます。
- ・開始時刻等については、議会事務局（32-8914）までお問い合わせください。

日	月	火	水	木	金	土
5月28日	29	30	31	6月1日	2	3
				本会議 開会	一般質問	一般質問
4	5	6	7	8	9	10
	本会議	常任委員会				
11	12	13	14	15	16	17
				本会議 閉会		

こんにちは！ 下野市議会です

87.9
MHz

FMゆうがお(87.9MHz)の行政情報番組「しもつけピタッとラジオ(12:00~12:55)」内で発信中！毎月最終月曜日です。

♪ぜひ、お聴きください♪



※アプリ「FM++(ぶらぶら)」でいつでも・どこでもラジオ放送を聴くことができます。

『もっと市民に“読まれる・わかる”議会だより』を目指して、議員研修を行いました！

研修テーマ もっと市民に“読まれる・わかる”議会だよりへ

講師 (株)会議録センター 編集部部長 矢嶋 洋美氏

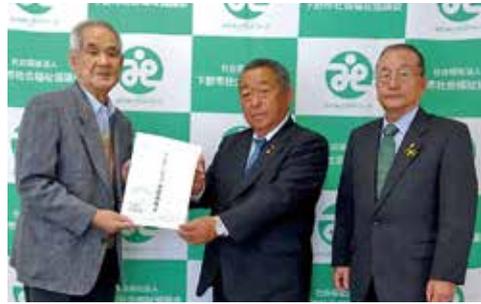
現在の議会だよりは改善点が多々あり、多くのアドバイスを頂き『目から鱗』の研修会でした！

文字の大きさ、書体、フォント、横書き、縦書きなど、ちょっと変えるだけで全く印象が変わる事を学びました。また新聞や週刊誌のように、見出しを読んだ瞬間、興味を持つように『見出しが大事』であることを学びました。さらに、一文を大体50文字で構成することも学びました。最後には実践もあり、収穫の多い研修会でした。“読まれる・わかる”議会だより作成に努めてまいります！ (山下みゆき)



2023年トルコ・シリア地震救援金を 社会福祉協議会へ届けました

令和5年2月6日に発生したトルコ南東部のシリアとの国境付近を震源とする地震では、多くの死傷者が確認されています。市議会では、被災者の救援活動を支援するため、救援金を贈りました。救援金は社会福祉協議会を通じて日本赤十字社へ届けられます。



ぎかい だより クイズ

1 令和5年度一般会計予算総額は〇〇3億5千万円です。

2 食材費高騰のためお米代を支援する〇〇〇費。

3 中学生海外派遣事業では 6年ぶりに〇〇〇(国名)へ。

◀前号のクイズの答え▶ ①: 指定管理 ②: 13 ③: 2

歴史館グッズ



◀応募方法▶

①～③までのクイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、ハガキでご応募ください。議会だよりを読んだ感想や、議会へのご意見もお書き添えください。

正解者の中から、抽選で10名の方に「歴史館グッズ3点セット」をお送りします。(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。)

◀あて先▶

〒329-0492 下野市笹原26番地
下野市議会事務局

「議会だよりクイズコーナー」宛

◀しめきり▶

6月15日(木) (当日消印有効)

議会だよりの中に答えがあるので探してみてくださいね

編集後記

この春、大谷選手の大活躍もあり日本代表が世界野球(WBC)の頂点に立ちましたが、同時期開催の全国高校野球では、石橋高校が見事甲子園初出場を果たしました。地元下野市や石橋高ここにあり！と全国にPRできた活躍ぶりに感謝するばかりです。わが市議会がこれに応えるには、この程審議可決した「未来へつなぐまちづくり予算」の執行をしっかりとフォローし、市の更なる発展につなげていかねばなりません。広報しもつけに比べ、市議会の報告等が中心となる本誌は少々読み難い面もあるかと思いますが、少しでも分かり易く！をモットーに努めています。ご意見等がありましたら是非お知らせ願います。(金子康法)

下野市社会福祉協議会ボランティアセンターにおいて、議会だよりの音訳CDを貸し出しています。電話 0285(43)1236

発行 栃木県下野市議会
編集 議会だより編集委員会

委員長 村尾 光子
副委員長 伊藤 陽一
委員 山下みゆき
西本由利子
石川 浩
金子 康法

※次号(No69)は8月15日に発行します

下野市議会だより1部あたりの印刷製本費は約23.5円です。

